

(お 知 ら せ)



平成24年10月 5日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成24年10月5日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成24年9月8日～平成24年10月5日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3，4号機 準備工事について（平成24年10月5日現在）

（1）建設準備工事

現在、背後斜面の緑化管理等の建設予定地の維持管理を継続して行っています。

（2）仮設工事関係

現在、仮設用地内のコンクリートプラントにおいて、コンクリートの品質確認のための試験を行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

(1) 当社は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に関連し、以下の公表を行いました。

- ・ 事故時等における記録及びその保存方法に関する確認結果
 - ・ 原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施状況
 - ・ 外部電源の信頼性確保に係る開閉所等の耐震性評価の進捗状況
- 詳細については別紙1をご参照下さい。

(2) 敦賀発電所敷地内の破砕帯の追加調査状況

当社は、平成24年5月14日の「地震・津波に関する意見聴取会」において説明した敦賀発電所敷地内の破砕帯の追加調査計画に基づき、既往露頭の観察・分析、トレンチ・大深度調査坑の位置特定のためのボーリング調査及びトレンチ(D-1 破砕帯)や大深度調査坑(D-5、D-6 破砕帯)の掘削等を実施しています。なお、調査状況については、当社ホームページにおいて定期的に公表しています(原則毎週月曜日更新)。

(3) 猪ヶ池における津波堆積物の追加調査について

当社は、津波堆積物調査を関西電力株式会社及び独立行政法人日本原子力研究開発機構と協調して取り組んできており、平成24年7月17日の「地震・津波に関する意見聴取会」に提出した猪ヶ池に関する追加調査計画に基づき、採泥調査、露頭調査及び海底堆積物の分析等を実施しています。

5. その他

(1) 敦賀発電所1号機 燃料集合体チャンネルボックス上部の確認状況について

当社は、原子力安全・保安院からの指示に基づき、敦賀発電所1号機の燃料集合体チャンネルボックス※全数582体の確認を行い、チャンネルボックス上部の一部に変色等のあるものを9体確認しました。

今後、当該チャンネルボックスについて、詳細な確認を行い、原因調査を行います。

※: 燃料集合体に取り付ける四角い筒状の金属製の覆い。燃料集合体内の冷却材流路を確保するとともに、制御棒のガイドの機能を持つ。

(平成24年8月17日発表済み)

当社は、現在の調査状況及び今後の点検計画について取りまとめ、原子力安全・保安院に報告しました。今後も調査を継続し、本事象発生の原因究明及び再発防止策の策定、原子炉施設への影響評価等を実施します。

(平成24年9月10日発表済み)

(2) 敦賀発電所2号機排気筒トリチウムサンプリング系露点温度スケールの設定誤りについて

敦賀発電所2号機において、排気筒から放出されるトリチウム^{※1} 放出量及び濃度の評価に使用している、トリチウムサンプリング系の露点温度記録計の記録スケールの設定に誤り^{※2}があることを9月7日に確認しました。

その原因を調査した結果、平成23年11月に当該露点温度記録計を取り替えた際に、受注者が記録スケールの設定を誤り、当社もその誤りに気付かずに使用していたことがわかりました。

また、トリチウムの放出量及び濃度について、当該露点温度が実際より高めに指示した値を使用して計算したために、平成23年11月から平成24年6月までの間、実際より高く評価されていることを確認しました。

当社は、今後記録計取り替え時には、スケールの設定確認を行うなどして、再発防止に努めていきます。

本事象は、トリチウムの放出量及び濃度を実際より高く評価したものであり原子炉施設への影響はなく、周辺環境への影響もありません。

なお、国や自治体に提出している排気筒から放出されるトリチウム放出量及び濃度については、正しい値にて評価を行い9月12日に再提出しております。

※1：トリチウムは空気中の水蒸気に含まれているため、サンプリング装置で定期的に空気を凝縮した水を回収しトリチウムの放射能測定を行なっている。その際、空気中の水蒸気量は季節等によって変動するため露点温度の指示値で空気中の水蒸気量を補正してトリチウム濃度を評価している。

※2：本来-20℃～60℃に設定するところ、他の温度記録計の設定と見誤り-20℃～80℃に設定

(3) げんでんふれあいギャラリー

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。>

1) 花遊 押し花展 ～いやされて～

〔押し花 花遊（代表：石井 蓮好 様）の7名の皆様による押し花展です。前回展示の平成22年6月以降、花達から“いやし”や“喜び”、“感動”を頂きながら、制作された作品を70点展示しています。同じ作品でも使用する花や草により表情が異なる、押し花独特の優しい色使いをどうぞご覧下さい。〕

（10月2日～10月7日）

2) 懐かしの映画ポスター展 Part II “時代劇篇”

〔当ギャラリーでの展示は2度目となる敦賀市在住の萩山 芳彦 様による映画ポスター展です。子供の頃に見た映画の面影を求めて収集された、日本映画の原点とも言うべき時代劇（チャンバラ映画）のポスターを100点展示予定です。〕

（10月9日～10月21日）

3) 風景「春秋の詩」写真展

〔今年で満70才を迎えられた、敦賀市在住の吉本 與一 様による写真展です。昨年秋から今年の春にかけて、吉本様ご自身が感動されてシャッターを切った、桜や紅葉など季節の花をメインとした作品を30点展示予定です。〕

（10月23日～11月4日）

(4) 次世代層等への教育支援活動関連イベント

＜次世代層等への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

“げん丸塾”「京都市青少年科学センター見学会」

対象：げん丸塾生（会員制）

会場：京都市青少年科学センター（京都府京都市）

京都水族館（京都府京都市）

日程：10月13日（土）

東北地方太平洋沖地震への対応実績（9月8日以降）

（1）事故時等における記録及びその保存方法に関する確認結果

当社は、原子力安全・保安院からの指示に基づき、当社発電所の事故時等における記録や保存を行う装置について、現状の記録装置や運用の確認とともに、その管理面を含めた信頼性向上対策の必要性について検討を行った結果、事故時等における記録及びその保存を確実に実施できることを確認し、原子力規制委員会に報告しました。

（平成24年9月21日発表済み）

（2）原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施状況

当社は、「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価実施計画書」に基づく、敦賀発電所における津波評価結果を、平成24年10月を目途に評価結果を報告することとしており、これまでの「地震・津波に関する意見聴取会」における津波に係る審議状況等も踏まえ報告します。

また、浦底断層の活動に伴う地盤の変位評価については、「地震・津波に関する意見聴取会」における活断層の規模や地震動に関する審議の状況等も踏まえ検討を実施し、評価が取りまとめ次第速やかに報告することとしており、進捗状況について、11月を目途に報告します。

（平成24年9月28日発表済み）

（3）外部電源の信頼性確保に係る開閉所等の耐震性評価の進捗状況

当社は、「原子力発電所の外部電源の信頼性確保に係る開閉所等の耐震性評価実施計画書」に基づき、敦賀発電所における開閉所の電気設備等の耐震性評価の進捗状況として、地質データ検討、入力地震動算定及び解析モデル作成を実施中であることを原子力規制委員会に報告しました。

（平成24年9月28日お知らせ済み）

以 上